

さの秀郷まつり

Town Topics
まちの話題

8月9日、さの秀郷まつりが佐野駅周辺で開催されました。

今年は台風11号のため、10日は全イベント中止になり、9日のみの開催となりました。9日もときおり雨が降るあいにくの天気でしたが、約5万人の人々が訪れました。

城東中学校では「秀郷流流鏑馬」が行われました。訪れた皆さんは、馬の豪快な走りや射手の弓さばきに見入っていました。

城山や万町駐車場に設けられたステージでは、太鼓の演奏などが披露されたほか、親善都市・彦根市から来てくれた「ひこにゃん」がさのまると登場。抽選で選ばれた皆さんと記念撮影を行いました。また、佐野駅前通りで行われた市民総おどりに、約1,200人が参加。「佐野まつり」、「華の秀郷」、「さのまる音頭」を踊りました。



キャンペーンスタッフコンテスト& SANOブランドール結成記念イベントを開催

- ▶ 日時＝9月6日(土) 午前11時～午後5時
- ▶ 会場＝イオンモール佐野新都市
- 問合せ＝観光立市推進課 ☎(27)3011

子ども演劇サマースクール



7月22日から26日の間、葛生あくどプラザで、子ども演劇サマースクールが開催されました。

この講座は、夏休みの小学4年生から中学3年生を対象に、演劇やお芝居の面白さを知ってもらおうと、(公・財)佐野市文化振興事業団が毎年開催しています。

今年は、市内の小中学校から約40人が参加し、プロの講師から演劇や演技を遊びながら楽しく学びました。

親子茶道教室



7月27日、小学生とその保護者を対象に、親子茶道教室が万葉の里・城山記念館で行われました。この教室は茶華道協会茶道部により、12月まで毎月1回、茶道を学び・親しみ、理解を深めることを目的に開催されます。

この日は、裏千家茶道家の先生が挨拶、歩き方、和菓子・抹茶のいただき方を説明し、最後には親子で抹茶をたてて互いに振る舞い合いました。



**自治基本条例策定
に向けて市民会議
が始まります！**

「自治基本条例」って何？今なぜそれが必要なの？そんな疑問をぶつけ合いながら話し合っていく座談会も7月29日で3回目となりました。

これは「自分たちの住むまちはどうあるべきか、ルールを自分たちで作っていこう」という市民が主役のまちづくりを進める座談会で、さらに9月には自治基本条例策定に向けての市民会議の開催を目指しています。

国の政策で地方分権が進み、佐野市ではさまざまな分野で、市民が積極的に行政と関わりながら活動する様子が日常的に見られるようになってきました。そうした自分たちでまちづくりを推進していこうとする人たちや組織が、参加から参画へと進化しています。今後“佐野市民力”は、ますます必要とされていくことでしょう。

皆さん、「私たちの佐野市がどうあって欲しいのか」を一緒に考えてみませんか？
(市民記者 永倉文子)

早寝・早起き・朝ご飯・ラジオ体操朝飯会

7月20日、堀米運動場で開催されました。

これは、佐野市地域女性連絡協議会の主催で「いのちと絆、三世代のふれあい」をテーマとして、毎年夏休みに開催され、今回で第9回となります。



早朝から約400人もの家族が集まり、全員でラジオ体操やリレー、大玉転がしなどを行ったほか、佐野署による交通安全教室も行われました。

身体を動かした後は、赤飯と豚汁の朝食が振る舞われ、家族みんなでおいしそうに朝ごはんを食べていました。



**たぬま
ふるさと祭り**



8月3日、たぬまふるさと祭りが市民病院北西の市道に会場を移し、開催されました。

会場では、水風船を投げ合う「水合戦」が行われたほか、各団体などのステージや、日本のどまんなかを歌う「どまんなか総踊り」などが行われました。また、さのまるも登場し、子どもたちと一緒に記念写真を撮るなど、お祭りを盛り上げました。

「水合戦」の小学生の部では、26チームが参加し、チーム「A&R」が優勝。各チームで作戦を考えながら、手に水風船を持ち相手陣地に突撃！冷たくも熱い戦いを繰り広げていました。

佐野市スポーツ少年団 日独同時交流事業を開催

7月26日、佐野武道館で、剣道・柔道の日独交流が行われました。これは、佐野市スポーツ少年団の日独同時交流事業として行われたもので、ドイツからの訪問団として14歳～20歳までの男女9人、団長1人が市を訪れました。



訪問団の皆さんは、剣道を見学したのち、打ち込みを体験。続いての柔道では、佐野市の子どもたちと真剣な表情で乱取りを行いました。

訪問団は「日本で武道を体験でき、非常によかった。佐野市の人々はホスピタリティが高くとても親切でした」と話していました。

